

和食文化を推進するためのシンポジウムや食育フェアの開催

- 静岡県では、平成22年度から本交付金を活用し、食育総合展示会を開催している。
- 平成25年度は、8月と11月の2回、静岡市において和食文化推進シンポジウムを開催するとともに2月に浜松市において食育フェアを開催した。
- 米や茶、まぐろ等、和食素材となる多様な農林水産物の生産地であり消費地でもある静岡県において、関係者と連携を図りながら、食育活動を推進し、和食文化を次世代に伝えていくきっかけとなった。



静岡県

【取組の内容】

- ふじのくに多彩な和食文化推進シンポジウム
 - 開催日・場所:平成25年8月2日(金) 静岡市
 - 参加者数:230人
- 世界お茶まつり2013 和食文化推進シンポジウム
 - 『料理・酒・茶』～『和食文化』を次世代に伝えるには
 - 開催日・場所:平成25年11月8日(金) 静岡市
 - 参加者数:230人
- ふじのくに地域食育フェアin西部
 - 地域の食材や食文化に触れ、「食を知ろう!つくろう!楽しもう!」
 - 開催日・場所:平成26年2月22日(土)～23日(日)浜松市
 - 参加者数:4,970人



多彩な和食文化推進シンポジウム



ふじのくに地域食育フェアin西部

【取組の成果】

シンポジウムや食育フェアの開催により、県食育推進計画が掲げる「食を通して人をはぐくむ」という理念に即した総合的な食育の推進及び日本型食生活の普及促進について、広く県民へ啓発することができた。

和食文化の推進を中心に取り組んだことで、県民に静岡県の豊かな食材や優れた食文化の継承について意識啓発ができた。

平成25年度に静岡県が実施した県民を対象としたモニターアンケート調査において、「あなたは日頃、ご飯を中心とした「日本型食生活」を送っていますか。」という質問に対し、「そう思う」、「概ねそう思う」と回答した人の割合は、72.7% (659人のうち479人)であった。